



# 5年生・宿泊学習「自然教室」

～考える、友情、自然について学ぶ～

7月16日(木)～17日(金)の2日間、5年生の自然教室が石川青少年の家で行われました。出発式では、「自分で考える」「友情を深める」「自然を大切にする」と3つの誓いを立てた5年生。最初のころは、集合時間に遅れや部屋の電気を消し忘れて、注意を受けることもありましたが、声を掛け合い、5分前行動ができるなど、自分たちで考えて行動するようになりました。集会でも顔を上げてしっかり話がきけました。また、夜道を歩くナイトウォークラリーでは、グループが団結して気合いを入れて出発！途中、「怖がっているから、ゆっくりいこうぜ」「ここから坂になるよ。気をつけて」とお友達を励まし、お友達を思いやる行動もたくさん見られました。急な斜面が続き、大人でも挫けそうになった登山では、太陽が照りつける中、頑張って登り続け、頂上に着いたときは達成感でいっぱい。自然の厳しさから楽しいことだけでなく、きついことから逃げないこと、頑張ることを学びました。そして、最後の解散式。疲れているにもかかわらず、集会でしっかり顔を上げて話を聞く姿、児童代表として稲嶺柚七さんの、引率の先生方・スタッフに対する感謝の挨拶は、素晴らしかったです。

出発式で誓った、「自分で考える」「友情を深める」「自然を大切にする」が達成でき、そして、大きく成長した2日間だったと思います。今朝も昨日お疲れもあるにもかかわらず、早くから登校して、馬場通りを清掃する姿を見て、これからの五年生に大きな期待です。



自然の家に到着



頂上に着いたぞ～!



これから、出発!



解散式も頑張った

## 着衣水泳学習(6年)

～浮いて待て・「おかし」を学ぶ～

7月16日(火)、6年生を対象に着衣水泳学習がありました。「もし、川や海でお友達が溺れてしまったら…」と状況での行動を体育専科の照屋謙二先生から示されました。そこで、学んだのが、助ける側の「おはし」。「お…大人を呼ぶ(助けを求める)」「は…励ます(助けがくるまで)」「し…静かに浮くものを投げる(ペットボトル等)」。

溺れた側は、助けが来るまで「浮いて待つ(仰向け)」。実際に顎を引き「浮いて待つ」体験しました。



## 残念！落とし物でいっぱい。

～全ての持ち物に記名を～

今年から児童玄関の一角に、「落とし物コーナー」を設置しました。写真でも分かるように、ズボン、シャツ、パーカー、赤白帽、靴下、上履き、水筒、タオル等、落とし物でいっぱい。Tシャツは、スポーツブランドの高価なもの、タオルハンカチは10枚以上あります。

ご家庭でも「物を大切にする」ことについて話題にして頂き、全ての持ち物には、ぜひ「記名(名前)」をお願い致します。



